

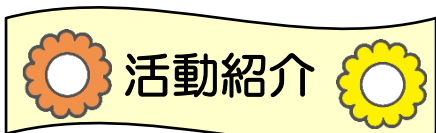
令和5年5月31日
拠点校 大田区立梅田小学校
校長 金高 俊哉
巡回指導教員



雨に映える紫陽花の花も美しく、木々の緑も目にしみる今日この頃、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

新学期が始まって早2か月が経ちました。環境にも少しずつ慣れ、新しい友達ができた子どもや、勉強や運動に挑戦をしている子どもたちの姿が見られます。サポートルームに通室している子どもたちも、高学年は学校の行事を支える活動、低学年・中学年は学級活動などで活躍する場面が見られ、大変嬉しく思います。

今後も、サポートルームでの学習を通して、子どもたちの学校生活の力になれるよう取り組んで参ります。ご不明な点がございましたら、是非お声かけください。今後とも、保護者の皆様のご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



ソーシャルスキルトレーニングとは？

ソーシャルスキルトレーニングとは様々なプログラムを通して対人関係など社会生活に必要なスキルを身に付けさせることです。

実際に学校で困った場面をもとに、ロールプレイなどで解決方法を見つけていき、次に同じ場面に合った時に適切に対処できるようにします。対人関係や感情のコントロールなどの困難がある子どもに有効とされており、学校や放課後デイサービスなど多くの現場で取り入れられています。

SST（ソーシャルスキルトレーニング）の方法

（例）

- ① 教示
- ② モデリング
- ③ リハーサル
- ④ フィードバック
- ⑤ 般化（はんか）

般化（はんか）

「知識として適切な言動を知る」「今までゲームや話し合いでやってきた行動を確認し意識化する」「今後の生活の中で意識化するきっかけをつくる」ことが1～4の学習の目的です。「あのプリントやったよね・・・。」

といった言葉かけや、取り組んだワークシートをファイリングして、度々見直す機会をつくるなど、サポートルームで学んだことを学校生活や家庭生活に般化していけるような働きかけを行います。



① 教示 内容を示します



②モデリング 教師の手本を見せます ↑



↑③リハーサル 子どもたちが取り組みます



④フィードバック ふりかえりを行います

参考文献

L D 発達相談センターかながわ編著『あたまと心で考えよう SST ワークシート自己認知・コミュニケーションスキル編』かもがわ出版 2010年